

# 自分で守る 地域で守る



## 被害を最小限にするのは、住民のみなさんの力です。

災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」が不可欠です。この3つの連携が円滑なほど、被害は軽減できます。

### 自助

一人ひとりが自分の身の安全を守る

- 非常用持出品・備蓄品の準備
- 避難所・避難経路の確認
- 屋内・屋外の点検・補強
- 自分の判断で避難 など



### 共助

地域や身近にいる人同士が助け合う

- 自主防災組織による防災の取組 など

### 減災

### 公助

国や地方公共団体などの取り組み

- 公的機関による救援・救出、復旧活動 など

## 市役所からの避難情報の種類

災害が発生するおそれがあるときに、市役所などから避難情報が発令されます。

▶▶▶被害発生までの時間的猶予 短い

#### 避難準備・高齢者等避難開始

高齢者等の要配慮者や避難行動要支援者など、避難をするのに時間を要する方やその支援をする方は避難を始めてください。そのほかの方も避難の準備を始めてください。



#### 避難勧告

通常の避難行動ができるすべての住民の方は、避難所に避難を開始してください。



#### 避難指示（緊急）

まだ避難していない住民の方は、指定された避難所に避難してください。間に合わない場合は、命を守る行動をとってください。



### 防災情報のまちの

「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」は、大雨洪水や土砂災害の発生のおそれがある時に適切な避難勧告等を行うため、避難対象区域の設定や避難情報の発令判断のタイミング、住民のみなさんへの伝達方法を取りまとめたものです。このマニュアルは市のホームページで閲覧できます。

(<http://www.city.furano.hokkaido.jp/docs/2015022200114/>)



## 自主防災組織を結成し、地域で地域を守る取組を！

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚や連帯感に基づき、災害による被害の予防・軽減のための活動を行う組織です。

#### 平常時の活動例

- 防災知識の普及
- 災害危険箇所の把握
- 防災訓練の実施
- 防災用資機材などの点検 など

#### 災害時の活動例

- 情報収集・伝達
- 初期消火・救出・救護
- 住民の避難誘導
- 生活物資の配給 など

## 助け合って避難しましょう。

高齢者、障がい者、乳幼児など、災害時に特に配慮を必要とする方のことを「要配慮者」といいます。

また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方を「避難行動要支援者」として位置付けています。避難情報発令時には地域ぐるみで助け合い、要配慮者・避難行動要支援者の避難支援をしましょう。

目の不自由な方



安全な場所まで誘導する。

耳の不自由な方



メモなどで正確な情報を伝える。

肢体の不自由な方



介助は2人で行う。声をかけ安心できるようにする。

## 避難情報の入手方法

●広報車・訪問



●テレビ・ラジオ



●メール



●自治会、自主防災組織



●サイレン



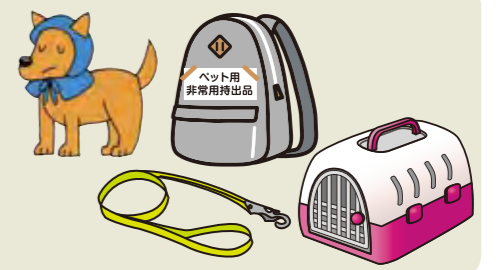
## 非常用持出品

必要なものをリュックサックに詰めておき、いつでも持ち出せるようにしましょう。

必需品	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 飲料水 (1日1人3ℓ)	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> 救急セット	必要に応じて準備
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・予備電池	<input type="checkbox"/> タオル・毛布	<input type="checkbox"/> 衣類・下着類	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 携帯電話・モバイルバッテリー	
						<input type="checkbox"/> ビニール袋・ティッシュ <input type="checkbox"/> ろうそく・マッチ・ライター <input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳びん・紙おむつ <input type="checkbox"/> 使い捨て食器 <input type="checkbox"/> 石鹸、ドライシャンプー <input type="checkbox"/> 軍手、くつ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 携帯用ナイフ

## ペットと一緒に避難する方は...

市では、犬・猫などのペットと一緒に避難所へ避難(同行避難)する場合、ペット専用スペースを指定します。飼い主は、同行避難に備え、日ごろから、ケージ等に慣らしておく、むやみに吠えないようにするなどのしつけや、リード、ケージ、ペット用の食料・トイレ用品など、非常用持ち出し品の準備を心がけましょう。



### 防災情報のまちの

富良野市では避難所を下記の4つに区分しています。

- 1 広域避難場所：公園・公共施設のグラウンド等
- 2 指定避難所：被災者が一定期間避難生活を送れる規模の学校等の施設
- 3 指定緊急避難場所：一時的に身を守るための施設
- 4 福祉避難所：高齢者や障がいのある人等のための避難所